

長岡中央総合病院 倫理委員会 オプトアウト書式

① 研究課題名	食道亜全摘胃管再建後の逆流性食道炎
② 対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	2010年から2019年までの10年間で食道癌に対して食道亜全摘胃管再建を行い5年以上無再発で経過し、定期的に内視鏡検査を行っている103例
③ 概要	食道癌に対する食道亜全摘、胃管再建術は逆流防止機構である噴門が切除されることで、術後の逆流性食道炎の発生率は58～72%と報告されている。当科では術後制酸剤を胃酸分泌抑制目的で投与しているが、無症状であることも多く服薬継続率は低い印象がある。逆流性食道炎の現状明らかにするために内視鏡所見と服薬状況を調査する。
④申請番号	第669号
④ 研究の目的・意義	食道亜全摘胃管再建後の逆流性食道炎に対する制酸剤の効果を検討する。
⑤ 研究期間	倫理委員会承認日から2025年6月27日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	後方視的なカルテ調査を用いた観察研究（個人情報その他施設への情報提供なし）
⑧利用または提供する情報の項目	内視鏡検査所見、制酸剤服薬状況
⑨利用の範囲	第79回日本食道学会学術集会で発表予定
⑩試料・情報の管理について責任を有する者・連絡先	河内保之 外科医局
⑪お問い合わせ先（照会先及び研究への利用を拒否する場合の連絡先）	長岡中央総合病院 医療支援課 0258-35-3700（代表）